

●新刊案内●

注文 FAX 048-432-7335

氏名:	住所:	電話: fax:
	〒	
B5版 64頁		
予価: 本体 1500円+税		
2005年2月18日発行		
注 文 数 部 日本橋報社刊行日中関係の本 ●『中国人特派員が書いた日本』 ●『永遠の隣人--人民日報に見る日本人』 ●『日中相互理解とメディアの役割』 ●『日中ホンネで大討論!』 ●『中国人の見た日本』 ●『中国人の日本語書総覧』 ●『日本華僑華人社会の変遷』 ●『華僑社会の変貌とその将来』 ●『中国人の日本奮闘記』 ●『中国の1万2967人に聞きました。』 ●『私が出会った日本兵』 ●『つくる会の歴史教科書を斬る』 ●『新中国に貢献した日本人たち』 ほか多数		

2004年の在日中国人

—華僑華人研究資料④—

段 躍中編著 日本橋報社 発行 ISBN 4-86185-000-2

2004年日中交流十大ニュース人物

メールマガジン日本橋報電子週刊の読者から寄せられたメールと編集部
の意見を総合し、2004年日中交流十大ニュース人物を以下の通り選出
した。

王毅 第9任中国駐日大使として着任され、日中両国で注目された。

宋健 中日友好会長として早稲田大学から名誉博士号を授与された。

王泰平 大阪総領事館総領事(大使級)から財団法人日中友好会館中
国代表常務理事に転身、著書『あゝのころの日本と中国—外交官特派員の
回想』出版。日中友好協会機関誌の2004年の「顔」の一人に。

祁景 著書『中国のインターネットにおける対日言論分析』が日中
両国から注目され、もっとも多くマスコミに登場した中国人留学生。第
一回中国人留学生修士論文賞受賞。

馮昭奎 氏の研究の集大成である『中国の「対日新思考」は実現でき
るか「対中新思考」のすすめ』を刊行。日本各地で講演。日中友好協会
機関誌の2004年の「顔」の一人に。

連舫 台湾から来日した父親を持つ、北京大学留学経験あり、中国人
の血統を持つ日本人政治家として参議院議員に初当選、日中交流におけ
る活躍が期待できる若手政治家に。

北の湖敏満 日本相撲協会理事長。30年ぶりの大相撲中国公演を実現
させた。

大越幸夫 TBS 初代北京特派員として39年ぶりに北京を再訪。日中
記者交換40周年記念行事に参加、同特集に出演。

大森和夫 中国の大学生による日本語作文コンクールを連続12年実施
してきた国際交流研究所の所長。昨年、上海で最後の表彰式を開催。式
上、日本の外務大臣及び文部大臣より、氏を高く評価する内容の祝電が
届き、披露された。

山本一太 中国の大手出版社より編著書、安倍晋三、岡田克也など29
名若手政治家を紹介した『如果我是日本首相』が刊行参議院議員。この
本の関係で、昨年、氏は三回北京入りし、中国の若手政治家と交流した
ほか、清華大学で講演を行った。

【内容紹介】

日本の華僑華人社会は大きく変わってきている。中国の改革開放以後来日し
た中国人は新しい華僑華人になり、様々な分野で活躍している。

二〇〇四年の在日華僑華人社会にはどのような出来事があったか、研究者は
もちろん、一般読者も関心があるだろう。

日本橋報電子週刊は創刊時から在日華僑華人を焦点に、その最新動向を分類
して、細かく取り上げてきている。

二〇〇四年の日本橋報電子週刊は、合計九十二号を発行し、在日華僑華人の
団体、会社、新しく創刊した媒体、学者研究者の著書、各分野で活躍してい
る人々の動向について約一〇〇万字の情報を掲載した。この一冊は、その膨大な
情報から、一目瞭然に情報を引き出せるよう、目次約二〇〇〇件と九十本の編
集後記を整理した。この一冊で、この一年の在日華僑華人の動向がほぼ把握で
きると自負している。

なお、この一冊は二〇〇一年に発行した「華僑華人研究資料」シリーズの四
冊目である。皆様の研究に少しでもお役に立てば幸いである。